

# ハワイ移民資料館アワー

## 【番組の概要】

ハワイ移民資料館アワーは、ハワイ州ホノルルの KZOO ラジオ放送局で放送された日本語ラジオ放送番組である。KZOO のアナウンサーうらけいこと、ハワイ島ヒロにあるハワイ移民資料館館長大久保清が出演した。ハワイ水産カンパニーやセントラルパシフィックバンクなど、地元の日系企業をスポンサーに持った。

放送は「いろはがるた」のコーナーで始まる。「いろはがるた」に書かれている日本語のことわざを英訳したものを、KZOO サンシャインガールのシャーレン(日系四世)が読み上げ、日本語を話さない世代にも日本の価値観を伝えることを目的としたコーナーである。(シャーレンが不在の時には、このコーナーは放送されない。)

「いろはがるた」に続き、大久保自身が収集・保管している 19 世紀末から 20 世紀初頭の邦字新聞の記事を基に、ハワイ日系人社会に関する話をする。

その後、曲のコーナーとなり、日本の歌やハワイ日系二世の歌手らによる歌のレコードが流れて、20 分ほどの放送が終わる。

## 【大久保清について】<sup>1</sup>

大久保清は、1905 年 11 月 27 日新潟県北蒲原郡で 10 人兄弟の 8 番目に生まれた。東京の成城第二中学を卒業後、ハワイへすでに移民していた長兄の呼寄せで、日本からアメリカへの移民が全面的に禁止される寸前の 1924 年 4 月 9 日、ハワイに上陸した。ハワイ到着後は、イオラニスクールで英語を学び、1925 年に「布哇新報」に入社。布哇中央学院で日本語教師としても働いた。1926 年に布哇新報が廃刊となると、ハワイ島コナへ渡り、ケアラケクア学園、コナ独立日本語学校などで教鞭をとりながら、「コナ反響」の記者を務めた。1932 年には、ホノルル「電報新聞」の創刊に伴い招かれ入社するも、わずか 4 か月で廃刊となった。大久保は再びハワイ島へ戻り日本語教師を続けるとともに、1936 年から「布哇報知」のヒロ支局長を務めた。同じころ、ハワイ唯一のラジオ局 KHB の日本語ラジオ放送主任も務めた。1941 年 12 月、太平洋戦争勃発に伴い逮捕されキラウエア火山の抑留所にて拘留された。しかし、12 月 29 日に釈放された。戦後 1955 年に大久保はヒロ・タイムスを発行した。1965 年にハワイ島日本人移民資料保存館を設立し、それまでの新聞記者人生の中で収集してきた邦字新聞をはじめとする日本人移民関連資料を整理・保存する環境を整備した。1989 年に勲四等旭日小綬章を受賞。2001 年にハワイ島ヒロで死去。

大久保は日本生れの一世代として、日本語教師として、新聞記者として、ハワイ社会

---

<sup>1</sup> ポール円福編 (2012) 『ハワイ日系パイオニアズ : 100 の物語』 ハワイ報知社。

の発展と、日本との交流を見つめてきた。「移民資料館アワー」では、その経験に基づき、ハワイ日系人社会のリーダーたちの話や、サトウキビプランテーションでの暮らし、日系人の宗教の話などを語っている。

### 【各放送の梗概について】

各放送回の梗概では、【いろはがるた】【話の内容】【曲】【サブジェクトタグ】をそれぞれ記している。

【いろはがるた】では、「」内に日本語のことわざをしるし、そのあとに簡単な英文を記している。話者の癖により聞き取りが困難なものや、音源の編集の段階で途切れてしまっているものなどは適宜脚注などで示している。

【話の内容】では、大久保とうらによってなされた会話のまとめを記している。話の内容や言葉遣いに関しては、大久保の使用した通りに記入している。人名に関しては、名字のみの言及であっても邦字新聞や「ハワイ年鑑」などにより個人が特定できた場合にはフルネームで表記している。また、放送内で言及された補足情報は本文中の（）内に表記し、それ以外の他文献等からの補足情報はすべて脚注に示している。

【曲】では、放送内で流れた曲を記している。演奏者が放送内で言及された場合には、曲名に続き（）内に演奏者の名前を表記している。

【サブジェクトタグ】では、各放送内でのトピックキーワードを示している。

### 【作成者】

2017年1月以降、人間文化研究機構ネットワーク型基幹研究プロジェクト「北米における日本関連在外資料調査研究・活用」の活動の一環として、国立歴史民俗博物館、海外移住資料館、国立国語研究所、国立国会図書館の日系移民関係資料に関わる担当者が、資料の収集等についての連携協力に向けて、定期的に会議を開催している。この一覧は、その連携協力の一つの試みとして、朝日祥之氏（国立国語研究所准教授）及び宮崎早季氏（国立国語研究所プロジェクト非常勤研究員）によって、2019年1月に作成されたものである。